

- 今般のPPE配布においては、各市町村ごとに以下の考え方で算出した配布量の目安を基に、配送ロットや予備等を踏まえて最終的な配布量を決定している。

接種対象者の前提

高齢者	令和4年住民基本台帳年齢階級別人口の65歳以上の者の合計
基礎疾患を有する者等（5歳以上）	市区町村人口×12%
医療機関、高齢者施設等の従事者	市区町村人口6%

物資ごとの使用前提等

サージカルマスク	接種対象者÷20回×7人（枚） ・会場担当者（接種チーム(予診、接種、薬液充填・接種補助)計3名、経過観察者1名、事務職員3名で1ライン）の装着を想定。 ・1日1ライン20回接種を前提として算出。
非滅菌手袋	接種対象者 + 接種対象者÷20回（双） ・接種者の装着（被接種者ごとの交換）、薬液充填・接種補助者の装着、予診・緊急対応の必要時の装着を想定。 ・薬液充填・接種補助者装着分は、サージカルマスクの会場担当者と同様の考え方。 ・予診・緊急対応の必要時装着分は、接種者装着分の予備で賄う。
N95等マスク	集団接種会場数×100枚を総量とする ・集団接種会場における緊急時使用備蓄を想定。 ・集団接種会場は、1箇所各物資100枚で算出。 ※サージカルマスクと非滅菌手袋に比べて配布数が少ないことから、市区町村には今後の必要分をまとめて配布
アイソレーションガウン	
フェイスシールド	